

科目名	日本国憲法					単位	2.0
担当教員	早川 秋子						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	5307

●授業のテーマ

日本国憲法の内容を理解し、法の意義と人権・法治国家についての考えを深める

●到達目標

周知のごとく、日本は、第二次世界大戦終結のためにポツダム宣言を受諾し、今後の近代国家のあり方を憲法に示した。国民主権・平和主義・基本的人権の尊重を三本柱とする憲法の内容を理解し、具体的事例を通して各自が自分の言葉で、自分の考えを他者にしっかりと伝えることができるようにしよう。

●学習内容(授業概要)

憲法の歴史を踏まえながら、基本的人権や統治機構について裁判事例(判例)を通して整理する。

法の下での平等や表現の自由などをニュースで報道されている身近な問題に照らし合わせながら理解する。

平和維持に関する問題では、湾岸戦争以来の国際社会の動きを軸にして、自衛隊の海外派遣問題や国際協力・国際貢献のあり方など、めまぐるしく変化する現在の視点で一緒に考えていこう。

必要に応じてプリントを配付、DVDやパワーポイントを利用する。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 憲法典の定義
2. 日本国憲法成立の由来
3. 象徴天皇と国事行為
4. 戦争放棄—集団的自衛権と自衛隊海外派遣
5. 基本的人権総論
6. 基本的人権各論 新しい人権・自己決定権などの具体的整理
7. 表現の自由 公共の福祉と二重基準論
8. 事例研究 靖国神社公式参拝の問題点
9. 国会中心立法・二院制(両院制)・衆議院の優越性
10. 行政権内閣帰属の原則とその注意点
11. 司法権の独立と独立制限
12. 違憲審査制度 違憲判決の具体的整理
13. 事例研究 在日外国人に対する参政権の付与は必要か
14. 地方自治の本旨
15. 憲法改正

●準備学習・事後学習の内容

各回の講義を受けた後で、内容を見直しておくこと。

新聞などで「今、どんな問題があるのか?」と常に情報収集を心がけておくと、

講義への関心が高まり、興味をもって取り組めるようになります。

●成績評価方法・基準

定期試験 70% 小レポート 20% 講義中の発言（参画度） 10%

（定期試験は論述形式で行います。憲法問題を自分のものとして捉え、法的に理解した上で、論理的に他者に伝えることができるか、を中心に判定します。）

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：法学入門、著者名：田中敦子・大野正博編、出版社：成文堂

●参考文献／その他

講義の中で適宜紹介します。

読み物としても楽しめるものは、山本聡『憲法のおもしろさ』北樹出版

一歩進んだ議論を学びたい人は、小沢隆一『クローズアップ憲法』法律文化社

公務員試験や各種資格試験を対象に、知識の整理をしたい人は、高乗正臣・奥村文男編『プラクティス法学実践教室Ⅱ 憲法編』成文堂などがお勧めです。

●履修上の注意

暗記科目でなく、理解し、考え、身につけていくのが法学です。積極的に参加する意欲を大切にしてください。